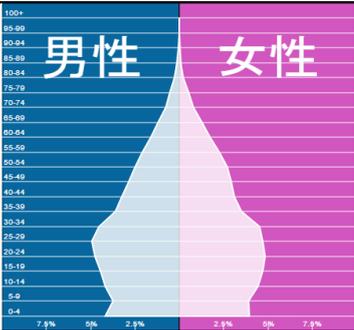
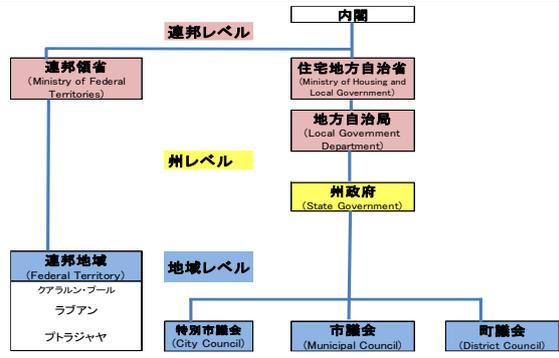




マレーシアの概要

作成 クレアシンガポール事務所 更新日2017年1月

1. 国概要		出典	
正式名	マレーシア		
国旗	位置図		
		①	
面積	約33万平方キロメートル(日本の約0.9倍)	①	
首都	クアラルンプール	①	
人口	2,995万人(2013年マレーシア統計局) 	①	
民族	マレー系(約67%)、中国系(約25%)、インド系(約7%)	①	
公用語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語	①	
宗教	イスラム教(連邦の宗教)(61%)、仏教(20%)、儒教・道教(1.0%)、ヒンドゥー教(6.0%)、キリスト教(9.0%)、その他	①	
通貨(為替レート)	1リンギット=約34.2円 (2014年12月31日終値(マレーシア中央銀行))	①	
略史	15世紀初め	マラッカ王国成立	①
	16世紀～17世紀	ポルトガル、オランダ東インド会社によるマラッカ支配	
	1824年	英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範囲下となる。イギリスによる植民地支配。	
	1942年～1945年	日本軍による占領	
	1948年	英領マラヤ連邦形成	
	1957年	マラヤ連邦独立	
	1957年8月31日	日本との国交樹立	
	1963年	マレーシア成立(シンガポール、サバ、サラワクを加える)	
1965年	シンガポールが分離、独立。		

政治																								
政体	立憲君主制(議会制民主主義)	①																						
元首	ムハンマド5世第15代国王 (2016年12月就任、任期5年、統治者会議で互選。クランタン州スルタン)	①																						
議会	二院制 上院:70議席、任期3年。44名は国王任命、26名は州議会指名 下院:222議席、任期5年。直接選挙(小選挙区制)	①																						
政府	首相:ナジブ・ラザク(2009年4月就任) 外相:アニファ・アマン(2009年4月就任)	①																						
地方自治制度	 <p>【州政府(13州)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各州は、自治体ではなく、連邦を構成する準国家 ・元首を有し、独自の州憲法を制定している。 <p>【連邦地域(3か所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都など特別な地域を対象に連邦地域(Federal Territory)を設置 <p>【地域レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の長及び委員は、州政府による任命制 ・州による指導監督 ・人口、歳入規模等の条件により、特別市議会、市議会、町議会に区分される。 ・ごみ収集や道路・水路清掃、公衆衛生、講演の整備など基礎的なインフラ整備などの住民サービスを提供 																							
経済																								
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)	①																						
実質経済成長率(%)	 <p>経済成長率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2004</td><td>2005</td><td>2006</td><td>2007</td><td>2008</td><td>2009</td><td>2010</td><td>2011</td><td>2012</td><td>2013</td></tr> <tr><th>成長率(%)</th><td>6.8</td><td>5.3</td><td>5.8</td><td>6.3</td><td>4.6</td><td>-1.7</td><td>7.2</td><td>5.1</td><td>5.6</td><td>4.7</td></tr> </table>	年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	成長率(%)	6.8	5.3	5.8	6.3	4.6	-1.7	7.2	5.1	5.6	4.7	①
年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013														
成長率(%)	6.8	5.3	5.8	6.3	4.6	-1.7	7.2	5.1	5.6	4.7														
物価上昇率(%)	 <p>物価上昇率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2004</td><td>2005</td><td>2006</td><td>2007</td><td>2008</td><td>2009</td><td>2010</td><td>2011</td><td>2012</td><td>2013</td></tr> <tr><th>上昇率(%)</th><td>1.4</td><td>3.1</td><td>3.6</td><td>2</td><td>5.4</td><td>0.6</td><td>1.7</td><td>3.2</td><td>1.6</td><td>2.1</td></tr> </table>	年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	上昇率(%)	1.4	3.1	3.6	2	5.4	0.6	1.7	3.2	1.6	2.1	①
年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013														
上昇率(%)	1.4	3.1	3.6	2	5.4	0.6	1.7	3.2	1.6	2.1														

名目GDP(一人当たりGDP) (USD)		①
失業率(%)		①
総貿易額 (億リンギット)		①
貿易品目	(1)輸出:電気製品、パーム油、化学製品、原油・石油製品、LNG、機械・器具製品、金属製品、科学光学設備、ゴム製品等 (2)輸入:電気製品、製造機器、化学製品、輸送機器、金属製品、原油・石油製品、鉄鋼製品、科学光学設備、食料品等	
主要貿易相手国	(1)輸出:シンガポール・中国・日本(2013年) (2)輸入:中国・シンガポール・日本(2013年)	

2.日本とのかわり		出典
大使館	クアラルンプール	④
大使	宮川眞喜雄(2014年3月～)	④
進出企業数	1,456社(製造業771社、非製造業685社)(2015年12月時点)	④
日系レストラン数	約1400店舗	⑦
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	件数:60件 金額:40億934万リンギ(2015年現在)	②
在留邦人数	約22,000人(2014年10月現在)	①
留学生数	2,475人(2014年5月現在)	①

観光																				
訪日旅行者数(万人)	<p style="text-align: center;">訪日旅行者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日旅行者数(万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2010</td><td>114,519</td></tr> <tr><td>2011</td><td>81,516</td></tr> <tr><td>2012</td><td>130,183</td></tr> <tr><td>2013</td><td>176,521</td></tr> <tr><td>2014</td><td>249,521</td></tr> <tr><td>2015</td><td>305,447</td></tr> <tr><td>2016</td><td>394,262</td></tr> </tbody> </table>	年	訪日旅行者数(万人)	2010	114,519	2011	81,516	2012	130,183	2013	176,521	2014	249,521	2015	305,447	2016	394,262	③		
年	訪日旅行者数(万人)																			
2010	114,519																			
2011	81,516																			
2012	130,183																			
2013	176,521																			
2014	249,521																			
2015	305,447																			
2016	394,262																			
旅行形態	団体(27.7%) 個人(72.3%)	③																		
貿易																				
日本との貿易(通関ベース)(100万ドル)	<p style="text-align: center;">日本との貿易</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出(A)</th> <th>日本の輸入(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2011</td><td>18,714</td><td>30,386</td></tr> <tr><td>2012</td><td>17,759</td><td>32,975</td></tr> <tr><td>2013</td><td>15,331</td><td>30,006</td></tr> <tr><td>2014</td><td>14,239</td><td>29,353</td></tr> <tr><td>2015</td><td>11,996</td><td>21,484</td></tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)	2011	18,714	30,386	2012	17,759	32,975	2013	15,331	30,006	2014	14,239	29,353	2015	11,996	21,484	②
年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)																		
2011	18,714	30,386																		
2012	17,759	32,975																		
2013	15,331	30,006																		
2014	14,239	29,353																		
2015	11,996	21,484																		
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 熱電子管、太陽電池等電子部品(16.6%) 電気機械器具(5.0%) 輸送機器(自動車等)(4.9%) 自動車部品(4.0%) 機械部品(3.6%)</p> <p>(2)輸入 液化天然ガス(41.2%) 熱電子管、太陽電池等電子部品(11.2%) ベニヤ板(3.6%)</p>	②																		

3.自治体の活動				出典
自治体交流				
姉妹自治体	日本側	マレーシア側	提携年	経緯
	福岡市 (福岡県)	イポー (ペラ州)	1989年	両者による青少年交流事業「青年友好の翼」からの発展
	日置市 (鹿児島県)	スバンジャヤ市 (スランゴール州)	2012年	両者による青少年交流事業「からいも交流」からの発展
トップセールス実績 (渡航通知ベース)	(2016年) 6月 福島県(世界経済フォーラムASEANへの出席) 7月 神奈川県(ペナン州を訪問し、共同声明25周年記念事業等に参加) 7月 静岡県袋井市(特産品の需用喚起と販路拡大のため関係機関への表敬訪問及び新規商談先の開拓を図る) 7月 岡山市・広島市・高松市・松山市(特産品の需用喚起と販路拡大のため関係機関への表敬訪問及び新規商談先の開拓を図る) 8月 山梨県(知事によるトップセールス) 9月 愛知県(農林水産物の販売促進、エアポートセールス) 9月 青森県(輸送サービスの状況調査) 10月 山口県(知事トップセールス) 10月 北海道深川市(ニーズ調査) 10月 香川県(レセプションパーティの開催及び視察) 11月 鳥取県(知事トップセールス) 11月 和歌山県(知事トップセールス) (2015年) 1月 福岡県(知事トップセールス) (2014年) 4月 熊本市(知事トップセールス) 5月 鹿児島県(ハラル関係機関訪問) 5月 岐阜県(知事トップセールス) 6月 荒川区、江東区(調査) 9月 三重県(産業振興ミッション団) 10月 石川県(観光セミナー開催) 11月 兵庫県(知事トップセールス) 11月 京都府(関西プロモーション)			
JET参加者の数(現役)	1名(CIR)			⑥
JETAA支部	-			⑥
クレア関連事業	●地域間交流促進プログラム 2016年 シンガポール、マレーシア 2014年 マレーシア(クアラルンプール、ジョホールバル) ●地方行政セミナー 2015年 マレーシア理科大学(ペナン)、クアラルンプール市役所 2014年 北マレーシア大学(ケダ州)			

4.その他渡航情報		出典
入出国	90日以内の滞在であればビザは不要。	
旅券の残存期間	(照会先)大使館等で確認	
日本との時差	-1時間	
祝日(2017年)	1月29日(日) 旧正月 1月30日(月) 旧正月(振替休日) 5月1日(月) メーデー 5月10日(水) 釈迦誕生日(ウエサク祭) 6月25日(日)~26日(月) 断食明け大祭 8月31日(木) 独立記念日 9月1日(金) イスラム犠牲祭 9月16日(土) マレーシアデー 9月21日(木) イスラム暦正月 10月18日(水) ヒンズー灯明祭 12月1日(金) ムハンマド降誕祭 12月25日(月) クリスマス	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(日本脳炎*1) *1: マレーシアで、クアラルンプールなどの主要都市以外へ長期滞在する場合は推奨	⑧
気候	熱帯気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+60(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	電圧は240V、50ヘルツ、コンセントは三つ穴のBFタイプが多く、日本の電化製品を使用する際は変圧器と変換プラグが必要	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	
日本からのフライト時間	直行便で約6時間30分	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofai/area/malaysia/>
- ②JETROHP https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html
- ③JNTO http://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/index.html
- ④駐マレーシア日本国大使館HP <http://www.my.emb-japan.go.jp/Japanese/index.htm>
- ⑤人口ピラミット <https://populationpyramid.net/ja/%E4%B8%96%E7%95%8C/2015/>
- ⑥JETHPより http://jetprogramme.org/wp-content/themes/biz-vektor/pdf/countries/2015_jet_stats_i.pdf
- ⑦農水省資料 http://www.kantei.go.jp/ip/singi/nousui/kyouka_wg/dai10/siryou4_b1-6.pdf
- ⑧厚生労働省検疫所HP <http://www.forth.go.jp/destinations/region/asia.html>